



## 第4回理事会

**日時** 平成23年10月8日(土) 16:00~18:02  
**場所** 北見プラザホテル 1階「オホーツク」  
**出席者** 長瀬会長、三宅・宮本・畑各副会長、北野・三戸・目黒・藤井・深澤・前川・水谷・山科・岡部・伊藤各常任理事、山光・島田・津田・倉増・山下・古屋・堀・杉元各理事、水元監事、塩野議長、増田日医委員  
 (事務局：島影事務局長ほか12名)

1. 開 会
2. 会長挨拶
3. 報告事項

### (1) 日医理事会報告(長瀬会長)

日本医師会医学賞・医学研究奨励賞選考の件において、北海道からは医学賞に浅香正博氏(北大)、医学研究奨励賞に高岡晃教氏(北大)の受賞が決定。他に、東日本大震災義援金第二次配賦の件等につき協議した。なお、事前の打合せ会にて、介護職の行う医行為等について意見を交換した。

### (2) 日医各委員会報告

#### 1) 医療IT委員会[9月1日(木)]について

(水谷常任理事)

諮問「ORCAの評価と今後」「日医認証局の稼働」に対する答申をまとめ、ORCAワーキンググループ(以下WG)は委員会当日の9月1日に、川出靖彦委員長、藤井純司副委員長・WG班長から、認証局WGは9月8日に、川出靖彦委員長、佐伯光義副委員長・WG班長から、それぞれ原中会長に手交した。

#### 2) 医事法関係検討委員会[9月9日(金)]について(山光理事)

「医事法をめぐる諸問題」についての諮問を受け、医療の根本的な法律が必要という観点から種々協議してきたが、医師の職業倫理に

基づく基本法制定に向けて答申をまとめることになる。

#### 3) 乳幼児保健検討委員会[9月14日(水)]について(津田理事)

「保育園医の組織化・機能強化に関するアンケート」を本年9月13日に実施したと小児に係るインフルエンザワクチンの用法・用量の変更に関する報告の後、会長諮問「保育園保健の充実に向けて医師会はどう関わべきか」についてフリーディスカッションが行われた。

#### 4) 広報委員会[9月15日(木)]について

(山科常任理事)

TV会議システムにより参加した。委員会では、日医ニュース編集WG、日医ホームページ検討WGそれぞれの座長から活動・進捗状況報告がなされた後、各委員から意見を聴取した。日医ニュース企画「新春対談」の対談候補者リストについて協議したが、まだ時間があることから引き続き検討することとなった。

#### 5) 介護保険委員会[9月15日(木)]について

(前川常任理事)

日医・中川副会長、担当常任理事等から報酬改定での課題につき説明があり、介護職員等による痰の吸引の問題点、介護三施設での医療体制の問題点、さらにリハビリテーション、認知症、退院調整、施設のケアマネジャー間での連携等について協議された。

#### 6) 医療政策会議[9月16日(金)]について

(長瀬会長)

日医・原中会長より「医療を営利産業化していいのか」と改めた諮問を受けた後、学習院大学経済学部・遠藤久夫教授より「医療保険財政と医療の産業化」と題した講演と、質疑応答があった。

#### 7) 救急災害医療対策委員会[9月21日(水)]について(目黒常任理事)

今後の日本医師会の災害医療のあり方について、JMATの教育プログラム試案が示され、課題、問題点等を協議した。また、小職より本道3圏域の2009年度ドクターヘリ運航実績報告書、2010年度北海道航空医療ネットワーク研究会(Hokkaido Air Medical Network:HAMN)研究運航実績報告書を提出し、概要を説明した。

#### 8) 学校保健委員会[9月22日(木)]について

(三戸常任理事)

学校における結核検診に関する検討会報告書の概要、平成23年度学校保健講習会の企画、運動器検診の整備・充実にかわるワーキンググループについてそれぞれ説明・報告が

あった後、会長諮問「地域医療の一環としての学校保健活動のあり方と勤務医の参加」についてフリーディスカッションが行われた。

9) 公衆衛生・がん対策委員会 がんクリティカルパスWG[9月23日(金・祝)]ならびに公衆衛生・がん対策委員会[10月6日(木)]について(畑副会長)

9月23日のWGでは各担当者からの報告をもとに協議した。10月6日の委員会では会長諮問「特定健診、がん検診等の受診率の向上」に関する答申(案)について協議するとともに、10月20日開催予定の厚生労働省がん対策推進協議会におけるクリティカルパス報告の内容について事前協議を行った。

10) 国民生活安全対策委員会ならびに健康食品安全情報システム委員会[9月29日(木)]について(増田委員)

国民生活安全対策委員会では、小職を含む東日本大震災の被災地を視察した委員から報告があり、本委員会で取り上げるべき議題・論点・テーマ等を協議した後、会長諮問「『国民の健康で安全な生活』の確保に向け、医師会として何をなすべきか、何ができるか。～国民が生活する上で生命・健康に脅威となる重大な事象の検証及びその対策～」について討議した。また、健康食品安全情報システム委員会では、健康食品安全情報システム事業の判定結果と健康食品による健康被害(春ウコンを主成分とする劇症肝炎事例等)への対策について協議した。

11) 勤務医委員会[9月30日(金)]について(岡部常任理事)

平成23年度勤務医会員数・勤務医部会設立状況等調査結果について報告したほか、平成23年度全国医師会勤務医部会連絡協議会(10月29日・富山市)の富山宣言について検討を行った。また、答申作成に向け執筆原稿の内容確認等を行った。

12) 男女共同参画委員会[10月7日(金)]について(藤井常任理事)

今後の女性医師支援センター事業ならびに男女共同参画フォーラムについて検討した。また、答申作成に向けた議論を行った。

4. 承認事項

(1) 外部各委員会等委員の推薦について(深澤常任理事)

北海道HTLV-1母子感染対策協議会委員に岡部常任理事を推薦することと承認決定。

5. 協議事項

第1号 平成23年度北海道医師会表彰に関する件(深澤常任理事)

表彰規程にもとづく会員77名、役員・代議員3名、

A会員の病院・診療所従業員327名、国公立等医療機関従業員120名、医師会職員13名の合計540名、ならびに特別表彰1名について表彰選考委員会での選考結果に基づき被表彰者と決定。

第2号 平成23年度道医・日医会費減免追加申請に関する件(深澤常任理事)

道医会費減免申請者 高齢免除1名、一般減免1名、合計2名 免除額44,000円。日医会費減免申請者 一般免除1名 免除額19,000円。以上の減免を承認決定。

6. 道総医協関連事項(三宅副会長)

平成23年8月20日の第3回理事会以降の会議について報告した。

7. 閉会

## 第14回常任理事会

日時 平成23年10月11日(火) 18:30~19:00  
場所 北海道医師会館9階・理事会室  
出席者 長瀬会長、三宅・宮本・畑各副会長、北野・渡邊・三戸・小山・目黒・藤井・深澤・橋本・前川・水谷・山科・岡部・伊藤各常任理事、水元・中村・大口各監事(事務局:島影事務局長ほか12名)

協議事項

第1号 平成23年度自民党道連団体政策懇談会に関する件(深澤常任理事)

10月26日に開催される標記懇談会に提出する要望事項8項目と説明者を決定。

第2号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件(渡邊常任理事)

申請のあった日医生涯教育講座42件、道医認定生涯教育講座54件、合計96件を承認することと決定。

報告事項

1. 緊急臨時的医師派遣事業第7回運営委員会[9月29日(木)]について(宮本副会長)

延長申請27件、派遣再開申請19件および新たに派遣申請のあった8医療機関の状況について条件を精査の上、派遣を決定した。また、派遣元として新たに32医療機関が登録された。

2. 第91回北海道医学大会総会・平成23年度北海道医師会賞贈呈式[10月1日(土)]について(渡邊常任理事)

札幌グランドホテルにおいて、163名が参加して行われた。北海道医師会賞・北海道知事賞受賞者は6名、各科トピックス4題の後、特別講演として、京都大学の福島名誉教授により「文科省橋渡し研究支援推進プログラムの切り拓く日本の新規医療技術開発体制」と題して特別講演が行われた。

3. 糖尿病講演会[10月4日(火)・天塩町]について(藤井常任理事)

当会をはじめ宗谷医師会など5団体が主催し、北海道や地方自治体、各関係団体等の後援を得て開催した。医師、歯科医師、看護師、栄養士の講師4名により、病気の解説から合併症に至るまでの一連の流れを分かりやすく講演いただいた。参加者は51名であった。

#### 4. メンタルヘルスセミナー・イン札幌[10月5日(水)]について(岡部常任理事)

公立学校共済組合北海道支部からの委託事業(4年継続)の最終年度として、本年度は札幌市内で開催した。テーマは昨年に引き続き「家庭と職場のメンタルヘルス」とし、特定医療法人社団慶愛会札幌花園病院の松原良次院長より専門的な立場から講演の後、質疑応答を行った。参加者は68名であった。

#### 5. 第33回産業保健活動推進全国会議[10月6日(木)・日医]について(畑副会長)

日医・原中会長(代理:羽生田副会長)ら主催者4名の挨拶に引き続き、午前は、石川県からの産業保健推進センターにおけるメンタルヘルス対策支援センター事業の話題と山形県・神奈川県からの地域産業保健センターにおけるメンタルヘルス対策に関する活動報告があった。午後は、厚生労働省労働基準局安全衛生部労働衛生課・椎葉茂樹課長より「メンタルヘルス対策支援センター、産業保健推進センター、地域産業保健センターの現状と今後のあり方」と題して説明・報告があり、その後、日医・今村(聡)常任理事をはじめ4名の発言者により事前提出した質問・要望事項を中心に質疑応答が行われた。

#### 6. 外部各委員会報告

##### (1) 北海道地域包括・在宅介護支援センター協議会第1回代議員総会[9月28日(水)]について(前川常任理事)

東京ドームホテル札幌において、職員研修「介護予防ケアマネジメント」の終了後、引き続き代議員総会が開催された。代議員25名の出席で、長瀬会長が議長となり、平成22年度事業報告、収支決算、監査報告が行われ、幹事の補選で北海道看護協会、北海道社会福祉会からの幹事交代が了承された。

#### 7. その他

##### ・ 郡市医師会医療安全担当理事連絡協議会 [11月27日(日)東京ドームホテル札幌] について(水谷常任理事)

常任理事会メンバーに対し、標記会議について参加の呼びかけがあった。

## 第15回常任理事会

**日時** 平成23年10月25日(火) 18:00~20:40  
**場所** 北海道医師会館9階・理事会室  
**出席者** 長瀬会長、三宅・宮本・畑各副会長、北野・渡邊・三戸・小山・目黒・深澤・直江・橋本・前川・水谷・山科・岡部・伊藤各常任理事、水元・中村各監事  
(事務局:島影事務局長ほか12名)

#### 協議事項

##### 第1号 母体保護法医師指定に関する件

(深澤常任理事)

10月19日の審査委員会で指定「可」とされた新規2名、再審3名の申請者を指定医師とすることに決定。

##### 第2号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件(渡邊常任理事)

申請のあった日医生涯教育講座44件、道医認定生涯教育講座33件、合計77件を承認することと決定。

##### 第3号 日本医師会認定産業医の認定申請に関する件(小山常任理事)

認定要件を満たした新規10名、更新117名の申請を承認。日医へ申請することと決定。

##### 第4号 日本医師会認定健康スポーツ医の認定申請に関する件(小山常任理事)

認定要件を満たした新規1名、更新17名の申請を承認。日医へ申請することと決定。

##### 第5号 第2回郡市医師会会長協議会の議題に関する件(深澤常任理事)

11月13日(日)午前10時から北海道医師会館8階会議室で開催する標記会議の提出議題を決定。

##### 第6号 その他

・ 11月行事予定表に関する件(事務局)

#### 報告事項

##### 1. 平成23年度患者接遇に関する研修会について

(伊藤常任理事)

標記研修会は、開催地医師会の協力のもと昨年に引き続き「小さな不満・苦情をクレームにしないための上手な対処法ークレーム対応は医療機関の“危機管理”のひとつー」をテーマに、設楽幸子氏を講師に道内4ヵ所で開催し、今年度の計画を終了した。ロールプレイを交えた研修で各会場とも熱心に研修が行われた。会場ごとの受講者は、7月15日(千歳市)105名、8月25日(室蘭市)199名、9月22日(函館市)425名、10月20日(帯広市)146名の合計875名。来年度も同様の研修内容で引き続き開催の予定である。

##### 2. 第55回社会保険指導者講習会[10月13日(木)・14日(金)]について(橋本常任理事)

標記講習会が、10月13日・14日の両日「画像診断updateー検査の組み立てから診断まで」をテーマ

に、日医と厚労省主催のもと日医会館大講堂で開催された。各講師からは診療科・疾患別ごとに、「気になる症状・所見の画像診断の進め方」「画像診断のリスクマネジメント」「疾患別の読影のコツ」などについて講演が行われた。続いて厚労省からは「東日本大震災による被災と対応」「診療報酬改定におけるイノベーションの評価について」と題し講演が行われた。最後に日医・中川副会長が総括として、「不合理な診療報酬項目の見直しについて」と題し、2012年度の診療報酬、介護報酬の同時改定を見送ることを念頭に、不合理な診療報酬、介護報酬については留意事項通知や施設基準要件の見直しを行うべきとの従来通りのスタンスで説明が行われた。また、「受診時定額負担」をはじめとする給付範囲の縮小、患者負担の増加には断固阻止する旨の決意が述べられた。

### 3. 北海道三師会[10月14日(金)]について

(深澤常任理事)

本年度は北海道薬剤師会の当番で開催した。各団体の会長挨拶、出席者紹介の後、「東日本大震災への対応について」各団体からの発表があった後、懇談を行った。

### 4. 第39回日本救急医学会総会・学術集会[10月18日(火)～20日(木)]について (目黒常任理事)

東京医科大学救急医学講座の行岡主任教授が会長となり「救急医学のルネサンス～われわれは、知を尊ぶ、しかし、溺れることなしに～」をテーマに東京都で開催された。招待講演、特別講演、会長講演、教育講演9題の他、東日本大震災特別シンポジウム等が行われ、約4,500名の参加があった。次回は、平成24年11月13日(火)～15日(木)京都府において、関西医科大学医学部救急医学科の中谷教授が会長となり「救急医学、この未知なる世界から拓かれた未来へ」をテーマに開催される。

### 5. 第125回日本医師会臨時代議員会[10月23日(日)]について (三宅・宮本・畑各副会長)

原中会長の挨拶と会務報告の後、平成22年度日本医師会の決算が上程され、三宅委員長より財務委員会の審議につき報告の後、提案どおり可決決定した。次に、日本医師会定款施行細則一部改正と日本医師会代議員会議事規則一部改正の2案件について一括上程され、選挙管理委員会の設置や、会長選挙の当選には有効投票数の過半数の得票が必要となることなどの改正案が提案どおり可決決定した。引き続き代表質問8件と個人質問16件が行われ、北海道ブロックからは、宮本代議員が「社会医療法人の認定要件について」と題し代表質問を、中田代議員が「地域医療支援病院について」、松家代議員が「医療における消費税問題について」と題し個人質問を行った。

### 6. 日医理事会報告 (長瀬会長)

専門医の在り方に関する検討委員会の件、社会保

障審議会介護保険部会の件、第2回不活性化ポリオワクチンの円滑な導入に関する検討会の件等につき協議した。なお、事前の打合せ会にて、総合特区について、総合医・総合診療医の語句の定義について等意見を交換した。

### 7. 日医各委員会報告

#### (1) 労災・自賠責委員会[10月12日(水)]について (深澤常任理事)

はじめに、「本委員会答申原案」の内容について協議し、文言整理等を行った。続いて「次期労災診療費算定基準改定に向けての要望事項」の項目・内容の確認を行った。また、先に実施した「交通事故診療に係る健保使用問題に関するアンケート調査」の解析内容を整理した。

### 8. 外部各委員会報告

#### (1) 第1回認知症対策検討委員会[10月13日(木)]について (直江常任理事)

委員長に北海道医療大学心理学部・中野倫仁教授、副委員長に小職が選出され、認知症対策検討委員会の検討課題と平成23年度実施事業の概要報告が行われ、成年後見制度(市民後見)普及推進WG(ワーキンググループ)の設置、認知症の医療対策(医療センターおよびサポート医)について協議された。

#### (2) 新たな北海道病院事業改革プラン検討委員会第3回会議[10月18日(火)]について

(直江常任理事)

道立病院の役割・あり方について、精神科医療を担う2病院、結核医療を担う1病院および高度・専門医療を担う2病院の現状と課題等の説明があり、意見交換を行った。改革プランの全体像は、今後の検討課題である。

### 9. その他

#### (1) 受診時定額負担に反対する署名運動について (深澤常任理事)

日医をはじめ国民医療推進協議会構成40団体で既に実施している、受診時定額負担に反対する署名運動について、当会役員に対しより一層の協力方につきアナウンスがあった。

### 道総医協関連事項 (三宅副会長)

#### 1. 救急医療専門委員会 [10月24日(月)]について (目黒常任理事)

現在25医療機関が指定されている災害拠点病院について、災害時における医療提供体制の拡充を図る趣旨より、11月1日付で8医療機関追加指定する旨報告があった。その後、砂川市立病院における救命救急センターの設置について協議が行われ、地域救命救急センターとして設置が了承された。